

平成 26 年 4 月 16 日

教育記者クラブ 各位

～愛する家族を失うとき～  
「ちいさなお星さまの会」勉強会開催のお知らせ

岩手県立大学看護学部が事務局をしております「ちいさなお星さまの会」主催の医療者向け勉強会を、北海道医療大学客員教授である石垣靖子さんをお招きして、下記により開催しますのでお知らせします。  
「ちいさなお星さまの会」HP：<http://www.ohoshisama.jp/index.html>

医療が進歩しても、死産、流産、新生児死は避けられない現実です。そして、その現実を受け入れようとする家族に医療従事者はどのように寄り添うべきなのか、日々答えを探しております。

今年度は「愛する家族失うそのとき」をいかに支援できるか、支えられるかをテーマに、この分野の第一人者である石垣さんにご講演いただきます。石垣さんは、ホスピスケアの先駆けとしてその発展の一翼を担い、長年看護師として、数え切れない方々の最期の瞬間を見守ってこられた方です。今回の勉強会では、これまでの豊富な臨床経験をもとに、お話いただきます。また、赤ちゃんを亡くされた体験者であるご家族のお話も予定しております。

死産、流産、新生児死は誰にでも起こりうることであり、同じ悩みをもつ女性やその家族がたくさんいらっしゃいます。ぜひ多くの方に関心をもっていただきたく、当日の取材及び報道についてよろしく願いいたします。

記

- 1 日時 平成 26 年 4 月 19 日（土）13:00～15:30
- 2 場所 いわて県民情報交流センター「アイーナ」5 階 会議室 501
- 3 内容

- 体験者のお話
- 北海道医療大学客員教授 石垣靖子さんのお話

テーマ 「愛する家族を失うとき」一かなしみを生きる

《詳しくはチラシをご覧ください》

本件に関する問い合わせ先●岩手県立大学看護学部

○助手 木地谷 祐子（きちやゆうこ）

電 話：019-694-3230

E-Mail：info@ohoshisama.jp

ちいさなお星さまの会主催

第10回医療者向け勉強会

# 愛する家族を失うとき

ホスピスケアの先駆者としてその発展の一翼を担い、長年、看護師として患者さん一人ひとりに寄り添い、共に泣き笑い、痛みや苦しみをやわらげ続け、数え切れない方々の最期の瞬間を、包み込むようなやさしさで見守ってきた石垣靖子さんを講師にお招きしての勉強会です。

○日時：2014年4月19日(土)  
13:00-15:30

○会場：いわて県民情報交流センター  
アイーナ501A・B会議室

○講師：石垣靖子先生

○参加費 2,000円

## 石垣 靖子さんプロフィール

禅太に生れ、北海道芦別市で高校まで過ごす。  
北大病院で臨床看護師、北大看護学校で教員として仕事を  
したのち北大病院に戻り看護管理者としての経験を積む。  
そのあとホスピス・緩和ケアを標榜する医療法人東札幌  
病院で20数年臨床に携わる。  
「医療の本質はやさしさ」の理念のもとで、患者・家族  
そしてスタッフとともに、ホスピス・緩和ケアについて  
学び続けてきた。

北海道医療大学大学院で現職の看護管理者と共に学び合う  
楽しみを体験し、2012年3月北海道医療大学を退職。  
現在は北海道医療大学客員教授

主な著書

- ・がんの痛みこころの痛み (家の光協会)
- ・ホスピスのこころ (大和書房)
- ・臨床倫理ベーシックレッスン (日本看護協会出版会) etc.

日本看護管理学会 監事  
日本がん看護学会 理事

1992年 エイボン女性大賞受賞  
2013年 日本がん看護学会 学会賞 (20141月現在)

○お申込み必切

4月4日(金)

申し込み・お問合せ先

〒020-0693

岩手県滝沢市巣子152-52

岩手県立大学 看護学部

「ちいさなお星さまの会」事務局

FAX: 019-694-3232

E-mail: info@ohoshisama.jp

※メールでのお申し込みの場合、裏面内容をご記入ください。

ちいさなお星さまの会 <http://www.ohoshisama.jp>



岩手県立大学

Iwate Prefectural University

〒020-0693 岩手県滝沢市巣子152-52

[www.iwate-pu.ac.jp/](http://www.iwate-pu.ac.jp/)

これは最も強固な形状といわれる「ハニカム構造」をモチーフに、県立大学と短大、大学院との結びつき、県民との強いつながりを表しています。  
Copyright © 2011 IPU All Right Reserved.